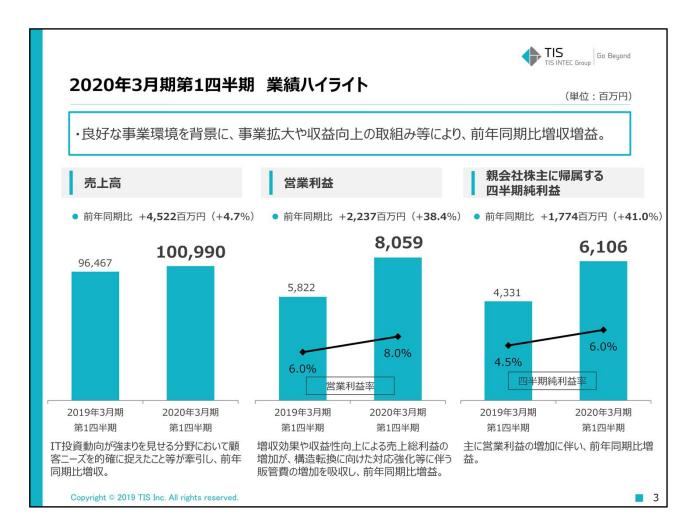


(2019年8月1日開催アナリスト向け決算説明電話会議プレゼンテーション要旨)

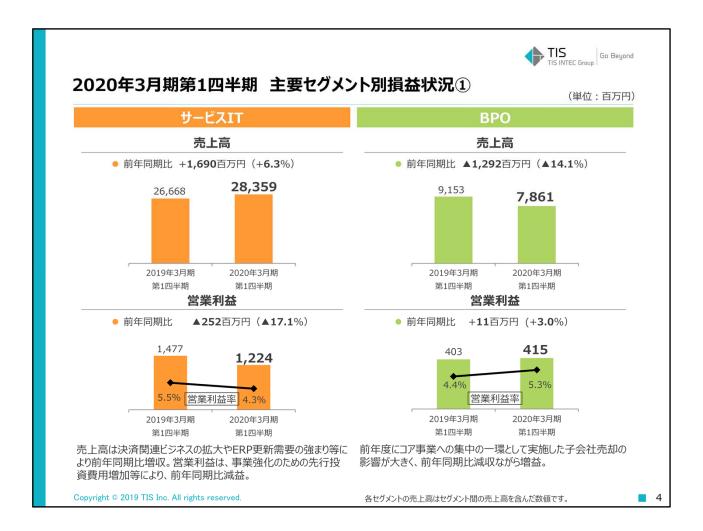
・TISの安達です。よろしくお願いいたします。



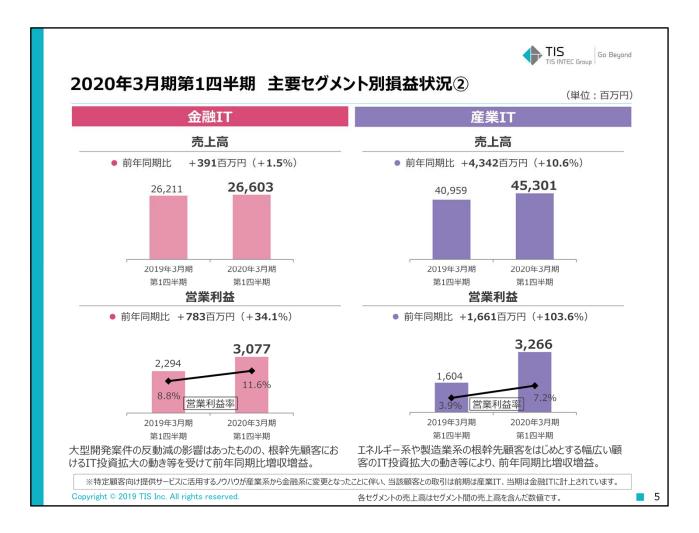
・それでは、本日15時半に発表いたしました、当社の2020年3月期第1四半期決算の内容につきまして、決算説明資料を使って説明させていただきます。



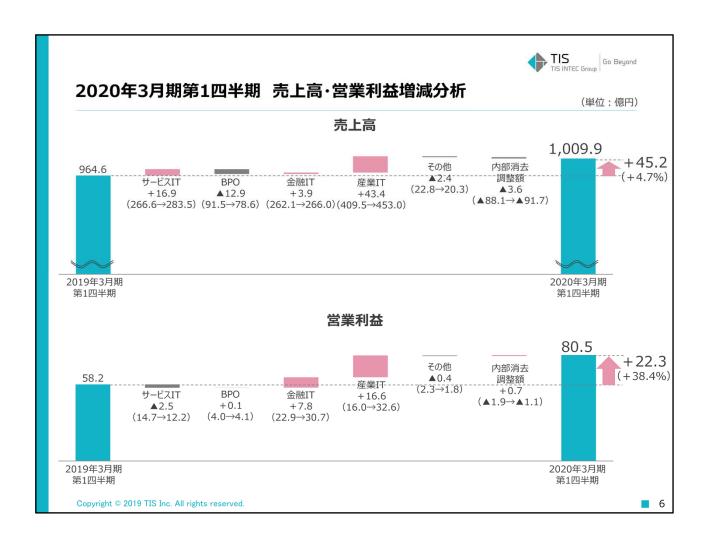
- ・当第1四半期の業績は前年同期比増収増益という結果であり、出足好調といえる内容だったと考えています。
- ・引き続き良好な事業環境を背景に、売上高は前年同期比45億円・4.7%増の1,009億円となりました。
- ・また、利益面ですが、営業利益は前年同期比22.3億円・38.4%増の80.5億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比17.7億円・41.0%増の61.0億円と、いずれも第1四半期としては大幅増益という結果となりました。

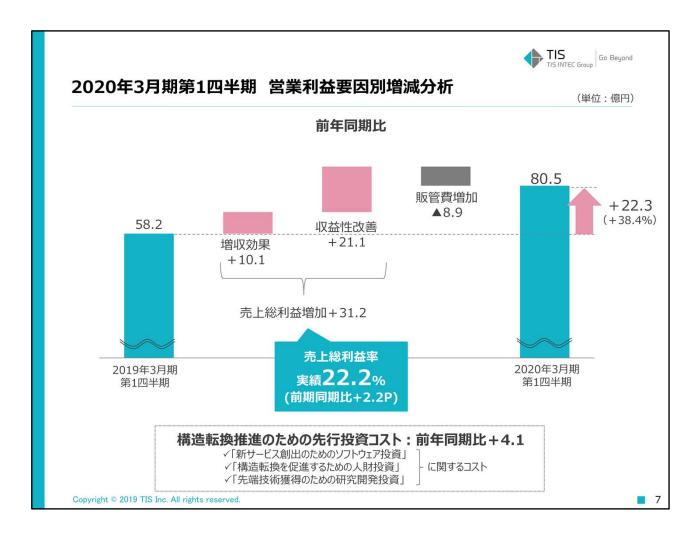


- ・続いて、主要なセグメント別の状況です。
- ・まず、「サービスIT」と「BPO」です。
- ・「サービスIT」は、売上高については、決済関連ビジネスの拡大やERP更新需要の強まり等で前年同期比6.3%増の283億円となり、引き続き好調でした。一方、営業利益ですが、事業強化のための先行投資費用が増加したこと等により、前年同期比17.1%減の12.2億円となりました。
- ・「BPO」は、売上高については、コア事業への集中の一環として前期に実施した子会社売却の影響を大きく受けたため、前年同期比14.1%減の78.6億円となりましたが、営業利益については、前年同期並みの4.1億円となりました。

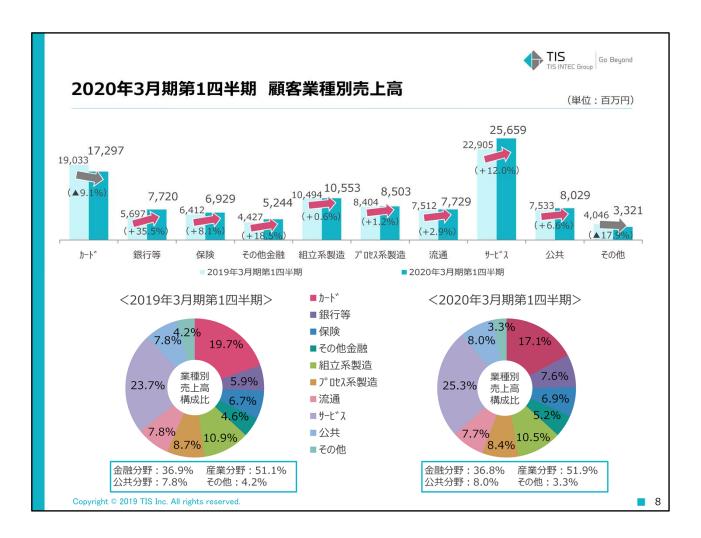


- 続いて、「金融IT」と「産業IT」です。
- ・「金融IT」は、概ね期初想定どおりにクレジットカード系の大型開発案件の反動減の影響が 約40億円あったものの、根幹先顧客におけるIT投資拡大の動き等を受けて、売上高は前年 同期比1.5%増の266.0億円、営業利益は前年同期比34.1%増の30.7億円と、増収増益となりました。
- ・「産業IT」は、エネルギー系や製造業系の根幹先顧客をはじめとする幅広い顧客のIT投資拡大の動きが続いていることを追い風に、売上高は前年同期比10.6%増の453億円、営業利益は前年同期比103.6%増の32.6億円となり、こちらも増収増益となりました。

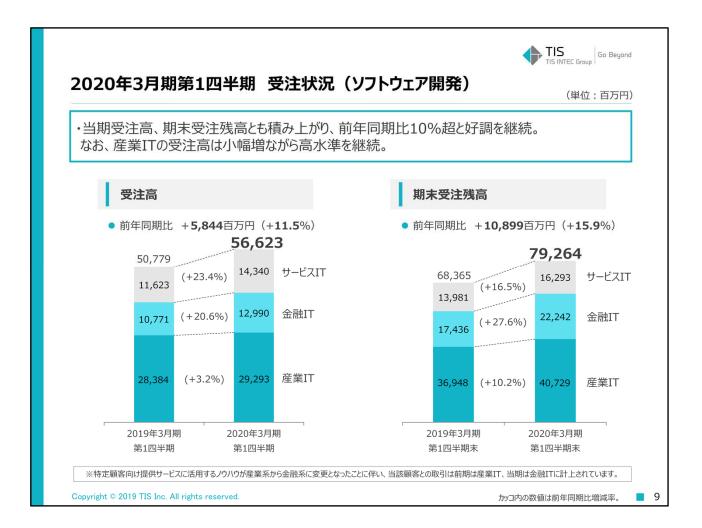




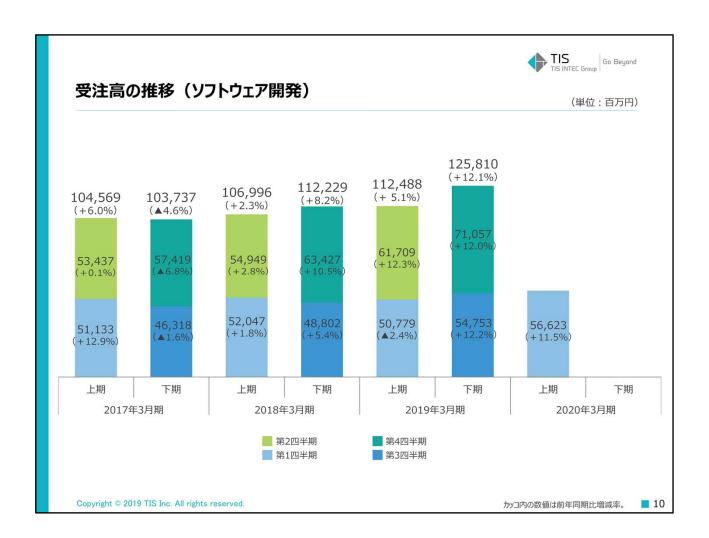
- ・次に、営業利益の要因別増減分析です。7ページをご覧下さい。
- ・前年同期に比べて、増収効果で10.1億円の利益増、収益性改善で21.1億円の利益増の結果、売上総利益が31.2億円増加し、売上総利益率については前年同期比2.2ポイント上昇の22.2%へ引き続き向上しました。一方、販管費は売上高増と連動する部分に加えて、構造転換に向けた対応強化による費用増を中心として8.9億円増加し、この結果として、営業利益は22.3億円の増加となりました。
- ・なお、当第1四半期における構造転換推進のための先行投資コストは前年同期比で4.1億円増加しました。また、不採算案件の発生は、2億円弱であり、低水準に抑制することができました。今後も抑制を継続してまいりたいと考えています。

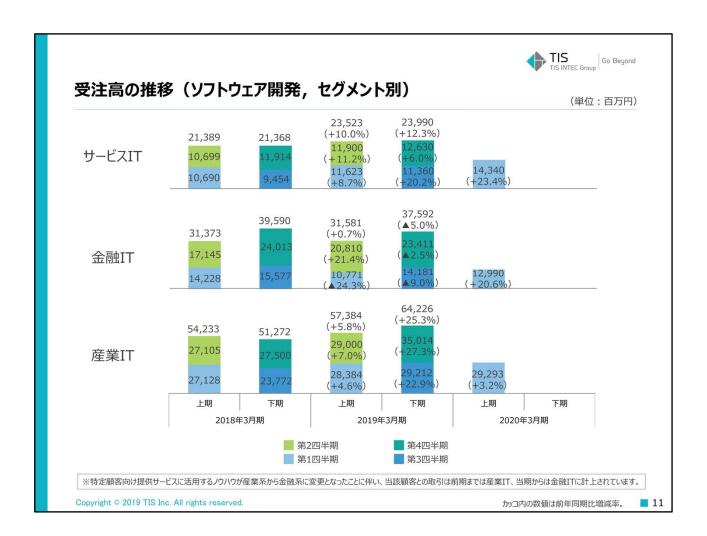


- ・顧客業種別売上高の状況です。
- ・ほとんどの業種で増加しており、好調な事業環境を反映しているといえます。減少している カードは大型案件の反動減の影響を他の取引で一部カバーしている状況であり、実勢ベースで弱いわけではありません。また、プロセス製造の小幅な伸びは、子会社売却によるマイナス影響を受けたためであり、こちらも実勢ベースで言えば根幹先顧客を中心として好調であったと考えています。



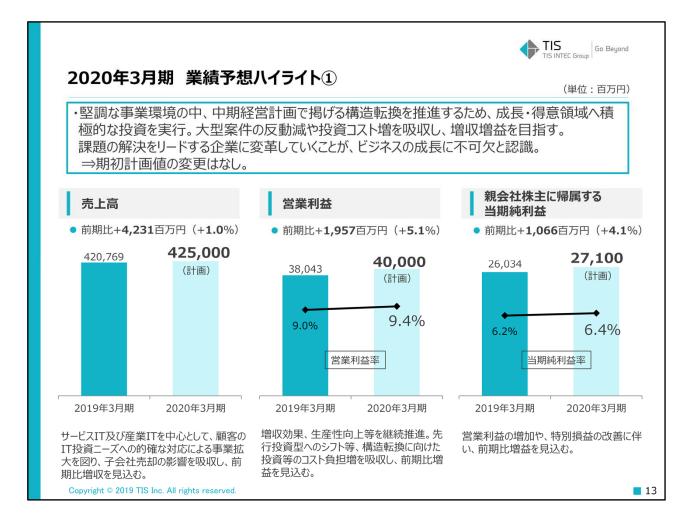
- ・9ページからは第1四半期の受注状況を掲載しています。
- ・第1四半期の「ソフトウェア開発」に係る受注高は、前年同期比11.5%増の566億円と力強い結果となりました。産業ITの伸び率は3.2%であり、他の2つのセグメントに比べて低い点を気にされる方がいらっしゃるかもしれませんが、従前から高水準の受注高が続いている結果であり、堅調に推移していると認識しています。
- ・また、期末受注残は産業ITも含めてしっかりと積み上がっており、良い状況で第2四半期に入ることができていると考えています。
- ・以上が、第1四半期決算の実績に関する説明となります。



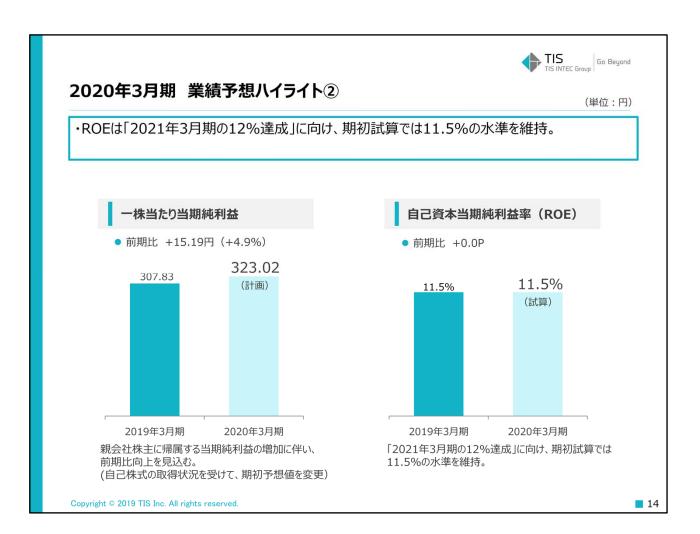


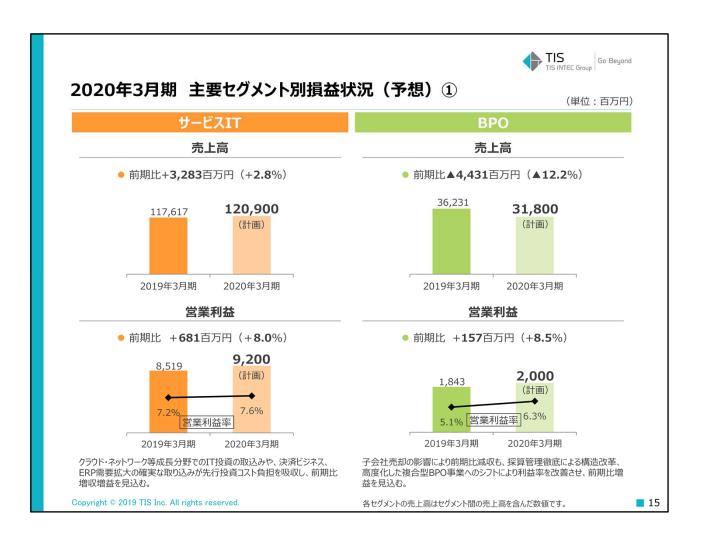


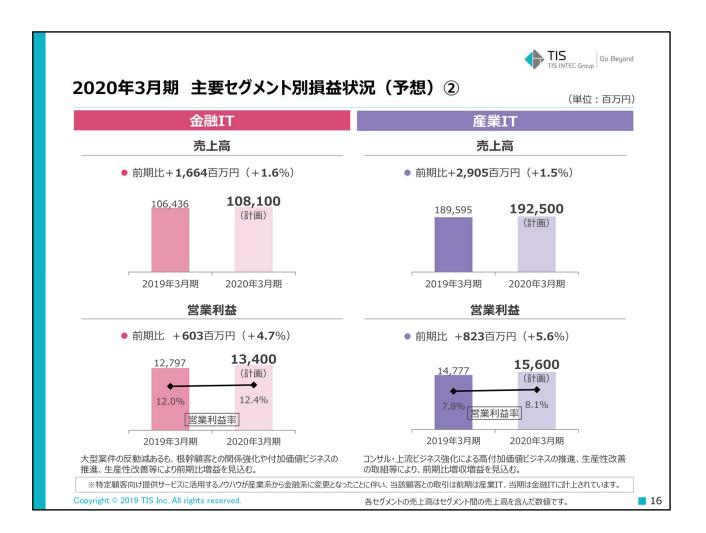
・それでは、通期業績見通しについてご説明します。

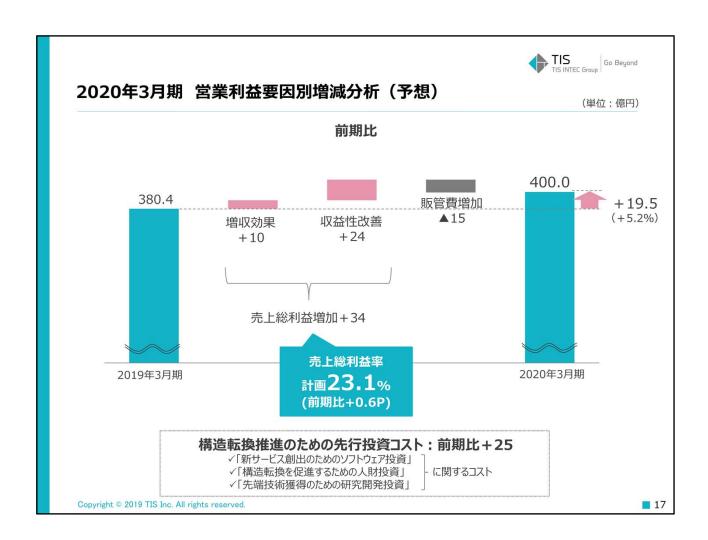


- ・2020年3月期の通期業績見通しについては、現時点で期初計画からの変更はありません。 売上高は前期比1.0%増の4,250億円、営業利益は前期比5.1%増の400億円、親会社株主 に帰属する当期純利益は前期比4.1%増の271億円の増収増益の計画です。
- ・営業利益の400億円ですが、17ページ記載のとおり、当期は先行投資コストを25億円増加させる予定ですが、それを売上総利益率の向上等で打ち返して増益を果たす計画となっています。この想定は期初時点と変わりませんが、念のため補足しておきます。
- 冒頭申し上げましたとおり、第1四半期は出足好調といえる内容だったと考えています。
- ・景況感はやや先行き不透明なところはありますが、IT投資動向は今後も堅調に推移するものと期待しています。そうした中、我々としては、第1四半期の好調さに油断せず、期初計画の達成確度をより確かなものにするため、引き続き収益性重視の上で案件獲得・受注積上げ等を推進してまいります。
- ・なお、本資料に記載はありませんが、当期も総還元性向を採用していることに伴い、5月から7月にかけて、総額約41億円の自己株式の取得を行いました。これによって、期初計画値を前提とする総環元性向は40.1%となる見込みです。
- 以上で、説明を終了させていただきます。

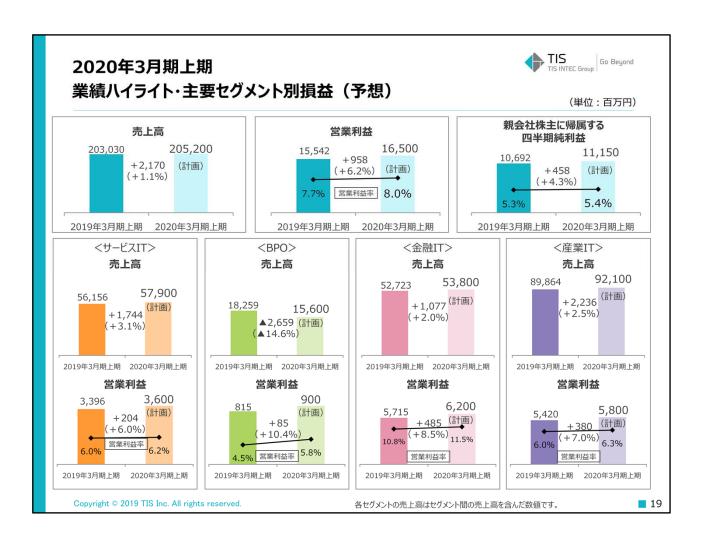


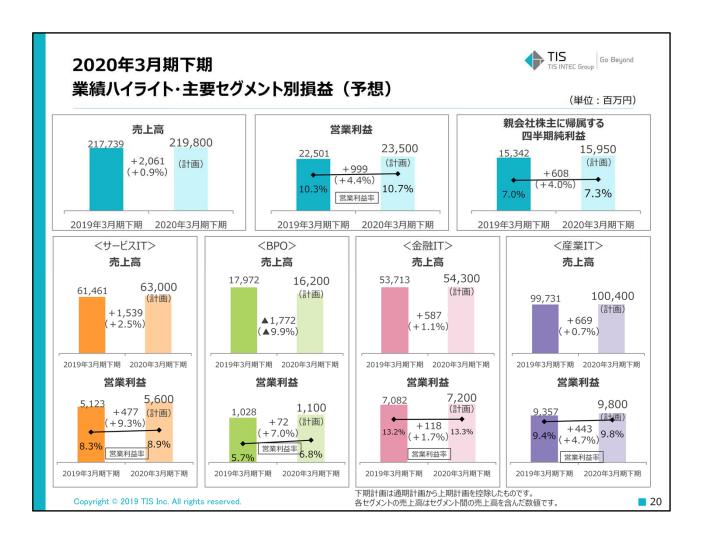














# 2020年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ①

発表日付	タイトル
2019年4月1日	TISおよび連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2019年4月1日	クオリカ、データトロンから全事業を譲受
2019年4月1日	A J S、AIベンチャー企業のクロスコンパスと資本業務提携
2019年4月3日	クオリカ、タッチパネル情報端末の新モデル「WebLightRXP」を発売
2019年4月8日	中央システムのクラウド勤怠管理システム『レコル』、2019年4月施行の働き方改革関連法に対応
2019年4月9日	A J Sとタレンタ、旭化成にデジタル面接「HireVue」を導入
2019年4月10日	TIS、会津若松のICTオフィス「AiCT」に拠点開設
2019年4月16日	TIS、米国ベンチャーファンド「Sozo Ventures II -S」へ出資
2019年4月17日	ネオアクシス、IBM iのインターネットEDIツール「Toolbox JXクライアント」に『XML変換機能』を追加
2019年4月18日	TISとラックがクラウドおよびセキュリティ領域で協業
2019年4月18日	インテックとAJS、旭化成へID統合システム「束人」を導入
2019年4月18日	A J S、AIベンチャー企業のスカイディスクと資本業務提携
2019年4月19日	TIS、官民データ活用共通プラットフォーム協議会(DPC)のデータ連携のための国際標準「NGSI」の接続実証に参画
2019年4月23日	インテック、ロボット開発者向け開発・管理環境ユーティリティ「RDBOX」をOSSで公開
2019年4月24日	インテック、タワー111ビル スペシャルライトアップのお知らせ ~世界赤十字デーにあわせ、赤色にライトアップ~
2019年4月25日	TIS、オリックス生命の支払査定業務のスピード化を支援
2019年4月26日	日経CNBC 朝エクスプレス「トップに聞く」に当社社長の桑野が出演
2019年5月7日	連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2019年5月9日	TIS、人の行動パターンに特化したAI技術を展開するシンガポールのスタートアップ企業「SQREEM社」と資本・業務提携
2019年5月9日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2019年5月10日	ソニー銀行がVisaデビットの利用制限をカード会員自身で解除できる機能を「Sony Bank WALLET アプリ」に世界初採用
2019年5月13日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2019年5月13日	定款の一部変更に関するお知らせ

Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

**2**1



# 2020年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ②

発表日付	タイトル
2019年5月13日	自己株式の取得に係る事項の決定に関するお知らせ
2019年5月14日	TISの人事異動のお知らせ
2019年5月14日	ネクスウェイ、帳票発行を自動化するクラウドサービス『FNX e-急便WEB発行サービス』をリリース
2019年5月15日	インテックの「F³(エフキューブ)AML(アンチ・マネー・ローンダリング)共同サービス」がめぶきフィナンシャルグループで採用決定
2019年5月15日	インテックの「F³(エフキューブ)AML(アンチ・マネー・ローンダリング)共同サービス」がふくおかフィナンシャルグループと広島銀行で採用決定
2019年5月16日	TIS、外食業界向けモバイルオーダー・セルフレジ提供のOkage社と資本業務提携
2019年5月17日	TISの「音声対話組み込みクラウドサービス」がSecualの"人と対話するカメラ"に採用
2019年5月20日	セブン・カードサービスのコールセンター業務でチャットボット活用の実証実験を実施
2019年5月22日	TIS、アプリケーション開発をスピーディーかつセキュアに実現する「エンタープライズ向けコンテナサービス」を提供開始
2019年5月29日	TIS、AIデータ分析のFlyDataに出資
2019年5月29日	インテック、家電を管理するアプリ「家電手帳」を提供開始
2019年6月3日	TISの人事異動のお知らせ
2019年6月3日	TIS、発想支援クラウドサービス「AIプレストスパーク」を提供開始
2019年6月4日	ネオアクシス、企業内検索エンジン「Neuron」でNotesコンテンツの検索を可能とする「Neuron Notes コネクター」の提供を開始
2019年6月6日	TIS、「RPA管理統制基盤サービス」を提供開始
2019年6月6日	アグレックスとアジリス・イノベーションが業務提携し、ビジネスプロセスを再構築する「ビジネス変革サービス」を提供開始
2019年6月7日	自己株式の取得状況に関するお知らせ
2019年6月10日	TIS、あくしゅ、LTE-X、ボイドルーターシステムズ、の4社で「Interop Tokyo 2019」に出展
2019年6月11日	TISと電気通信大学が大容量コンテンツ活用のためのキャッシュ技術の実証実験を実施
2019年6月12日	TIS、運用自動化で企業のクラウドシフトを実現する「次世代統合運用管理基盤」を提供開始
2019年6月13日	TIS、パーソナルデータ管理サービス「paspit for X」の販売代理店契約を締結
2019年6月13日	インテック、「トランポリン日本代表」オフィシャルトップスポンサーに就任
2019年6月14日	TIS、終日テレワークを主とする働き方「テレワーカー」や「勤務間インターバル制度」「スマートワーク手当」を新設
2019年6月17日	連結子会社の人事異動のお知らせ

Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

**2**2



# 2020年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ③

発表日付	タイトル
2019年6月17日	マイクロメイツ、「Windows10 Office 移行支援サービス」の対象にOffice2019 を追加
2019年6月17日	インテック、「mcframe Award 2019」で「Most Excellent Partner」を3年連続受賞
2019年6月18日	TISのモバイルウォレットソリューション「WalletEVO」がVisaの「トークン・リクエスターTSP」に国内初で認定
2019年6月19日	TIS、AWSの「金融サービスコンピテンシー」認定を取得
2019年6月20日	連結子会社の人事異動および機構改革のお知らせ
2019年6月25日	投資単位の引下げに関する考え方及び方針等について
2019年6月26日	アグレックス、損保ジャパン日本興亜保険サービスに位置情報付与ライブラリ「AP-GeoMarker」を提供し、営業店の訪問活動効率 化を支援

Copyright © 2019 TIS Inc. All rights reserved.

**2**3



#### <ロゴマークに込めた思い>

<u>へロコマークに込めた思い></u> 新たなる挑戦の場を表現する「オーシャンブルー」と、堅実さと確かな技術の裏付けを表現する「インテリジェントグレー」の2色で表現される ロゴマークには、私たちのコアコンピタンスである『IT』2文字を包含しています。グループ各社が異なるエキスパートであり、その集合体としての TISインテックグループの一体感、そして未来へ向かって進み続ける躍動感を表現しています。

#### (ご注意事項)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ(TISおよびグループ会社)が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大き く異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間(3カ月)の数値は累計期間の差引により算出しています。
- ・2019年3月期から構造転換の推進に向けた当社マネジメント体制の変更に伴い、セグメント区分を変更しています。2018年3月期の数値は変更 後のセグメントに組み替えて算出したものです。